

平成24年度

湯沢砂防だより

No.21

—地震地すべり国際シンポジウムの
現地視察が芋川で行われました—

平成24年11月13日

国土交通省 湯沢砂防事務所

「地震地すべりに関する国際シンポジウム」【主催(社)日本地すべり学会】が群馬県桐生市で開催され、シンポジウムの一環として、11月9日に中越地震の災害地として芋川流域を視察しました。

視察には12ヵ国より31名が参加し、東竹沢の「河道閉塞」現場や木籠の被災集落を始め、南平池谷での地すべり対策や砂防事業等を視察しました。参加者からは、国は異なっても専門家として早速地すべり形態に対する質問をする方や、露頭している滑落崖を入念に観察する方もおられました。



東竹沢地すべり跡地にて河道閉塞の概要説明



木籠集落(郷見庵)にて土砂ダム被害を見学



南平池谷の高台より砂防・地すべり対策工を見学



長岡市役所山古志支所にて記念撮影